

北信教育事務所だより

令和3年5月26日(水) 号外

共に拓く

1人1台端末を活用した生徒の学び合い

ー坂城町立坂城中学校の取組よりー

坂城中学校では、学校教育目標を「自主・友愛・剛健」と据え、「友愛」を最上位目標に位置付けています。学校づくりのテーマは、「**みんなの楽しいデジタルスクール(みんなのDS)**」。校内で『友愛モード』と呼んでいる「1人1台端末(坂城町では Chromebook を導入)を使った4人グループでの学び合い」を授業づくりの中心に据えて、「安心な教室」「学力向上」「楽しい学校」の実現を目指しています。

5月13日(木)に坂城町学校委員会が開催され、GIGA 公開授業として11学級の授業がオンラインで町内3小学校にLIVE配信されました。(すべての学級で1人1台端末を用いる場面が設定されていました)



2年 社会科

□単元名：日本と世界の時差をとらえよう

日本と旅行先の国の時差を考えながら、グループごとに旅行のスケジュールをプレゼンアプリ(Google スライド)の共同編集機能を使って作成する場面です。**端末上でほかのグループの作成状況を自分の学習進度で確認したり、役割分担したりしながら作成する姿が見られました。**



3年 数学科

□単元名：いろいろな因数分解

ホワイトボードアプリ(Google ジャムボード)を使用して、因数分解の仕方を共有し、別の式の因数分解をしている場面です。**端末上のほかのグループの計算方法をモデルにして、隣の生徒と計算の仕方を確認しながら、正しく因数分解しようとする姿が見られました。**



2年 英語科

□単元名：「～に○○を…する」の活用

教師が Google Classroom のストリームに提示した例文を参考に、生徒は端末上で英文を作りストリームに上げ、書いた英文を共有する場面です。**リアルタイムで友達が書いた英文を端末上で読むことができ、友達が見せたい物を知ろうとする姿が見られました。**

＜酒井 賢一校長先生より＞

信州大学の佐藤助教から、「中学校では周辺から(日常生活での端末の利活用から)」とアドバイスを受け、生徒がとにかく毎日、端末に触るようにしています。学校全体で「友愛モード」の授業づくりを推進する中で、空き時間に職員室でベテラン教師と若手教師が Chromebook の使い方を聞き合ったり、教え合ったりするなど「教師間の学び合い」も見られるようになっていきます。GIGA がスタートした今、「まずは、100 日がんばりましょう」

坂城中の朝は、「朝の入力フォーム」から始まります。生徒は登校後、教室に入ると Chromebook を保管庫から出します。入力フォームには、健康チェックのほかに校長先生からの質問なども含まれており、ここでも、4人グループで教え合いながらフォームへの入力を行っています。